

報道関係各位	発信年月日	令和3年9月22日			
担当部課名	担当課長名	担当者職氏名		連絡先電話番号	
市民部 市民活動推進課	河上 雄治	人権・男女共同参画室 主任 岡野 文恵		(0836) 82-1137	
件名	「明日をともに考える笑顔の一行詩」入賞作品を発表します				
内 容					
<p>山陽小野田市は、本年度は性別による固定観念や無意識の思い込みにとらわれずに、個性を認め合う多様性に富んだ社会、互いに喜びや責任を分かち合い、誰もが自分らしく輝ける社会の実現に向けて「誰もがいきいきと笑顔で輝けるまちへ」をテーマにして一行詩を募集しました。応募者の年齢は7歳から90歳までと幅広く、全国から1,748点の作品が寄せられました。数々の力作の中から審査を経て入賞作品が決定しましたので、ご紹介します。(敬称略)</p> <p>また、今回の入賞作品を10月1日(金)から10月29日(金)まで市役所1階ロビーで展示し、入賞作品を載せたカレンダーを市役所及び各公民館・図書館で配布しています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>入賞発表は10月1日以降でお願いします。</b></p> </div> <p>○最優秀賞  <b>ないようであった思い込み 認めていたようで否定していた多様性 気づいた私は新しい</b>      徳島県阿南市 澤田 典子</p> <p>【想い・エピソード】      自分にはないと思っていた差別につながる思い込み。認めているようで、そうではなかった多様性。人から指摘されたときは驚愕しました。でもそこから新しい私が始まったように思います。視野が広がり、自分自身も楽に生きられるようになりました。</p> <p>【選評】      自分の中に巣くう偏見を素直に認め、そこからグイっと心の向きを変える姿勢が鮮やかに表現されていて、潔さと力強さを感じます。</p>					

○優秀賞

たった一つの笑顔 たった一つの言葉 これだけで頑張れる時がある

宮崎県児湯郡高鍋町 日野 秀子

普通だと みんな言うけど 本当は 普通なんて どこにもない

山陽小野田市立小野田中学校 吉田 遙姫

○入選

優しさは分けっこしたって減ったりしない

広島県福山市 まろんママ

自分には ちょっと苦手な あの人も 他の誰かの 大切な人

山陽小野田市立竜王中学校 山縣 大丸

肌の色 目の色だけを見てないで 見えない心も見てあげて

山陽小野田市立小野田中学校 末廣 千晴

誰もみな 持ってる意見は 違うけど “わたし” は “あなた” を 否定はしない

東京都大田区 むーむー

離れても 「誰か」と生きる 私たち きっと前よりも 助け合えてる

神奈川県川崎市 小和瀬 茉莉

これまでの 当たり前って 何だろう 未来の為に 今を動かせ

山口県立厚狭高等学校 杉村 優斗

ありのままの自分が 受け入れられる世界 ありのままの自分で 居たいと思える  
世界

サビエル高等学校 畠山 千佳

○特別賞

認め合う 誰かの自信に変わるから あなたの声で 伝わるもの

サビエル高等学校 米原 希華

その一歩 あなたの力が 未来を変える ともにつなごう 笑顔のバトン

山口県立小野田高等学校 山下 遥叶

FAX 発信者：山陽小野田市企画部シティセールス課

電話 (0836) 82-1148 FAX (0836) 83-9336